

5月定例記者会見市長原稿

先日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国に発令されていた緊急事態宣言がすべて解除されました。これは、宣言がされて以降、ゴールデンウィーク期間を含め、感染リスクを低減する行動を徹底してくださった市民の皆さんや、自粛などにもご協力いただいた事業者など、市民一人ひとりのお力によるものにほかなりません。そして、感染拡大を阻止するため、医療現場の最前線で戦っていただいている、医療従事者の皆さんのお力も忘れてはなりません。

改めて、皆さんに心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

感染の収束に向け、現在、市内団体や企業などの支援の輪も広がっています。先日、市民有志が企画し、飲食店を支援するドライブスルーテイクアウトが開催されたほか、様々な企業・団体からの市へマスクや消毒液などの寄贈をいただいております。さらには、竜ヶ崎ロータリークラブから、次亜塩素酸水生成装置が寄贈され、5月25日に市役所本庁舎への設置が完了し、本日5月27日午後には、竜ヶ崎ロータリークラブの皆さまがお見えになり、目録の贈呈が行われます。

次亜塩素酸水は、保存期間が遮光密閉で3日間と短いですが、低濃度でありながら強い殺菌力があり、作業性や安全性にも優れているとのことですので、今後、市の公共施設の消毒に活用するほか、6月からは、市民や事業者などで希望される方に対し、配布できるよう準備を進めています。

改めて、多くの皆さまからいただいた心温まる支援に、感謝申し上げます。

さて、本市では、この新型コロナウイルス感染症に対応するべく、4月以降、3回にわたり補正予算を編成いたしました。

補正予算では、市民の皆さまが安心して生活できるような事業を立案し、本市の

未来を担う大切な宝である子どもたちが学校生活を円滑に進められるよう、学校への発熱判別用カメラの設置や小中学生への図書カードの配布、市内事業者向けには、クラウドファンディングで資金確保をする際の導入支援、雇用調整助成金などの申請書類作成に伴う社会保険労務士などへの依頼費用の助成など、市独自の支援策を盛り込んでいます。

また、茨城県が示した「社会経済活動再開の基本方針」のステージに合わせ、本市でも休館などの措置をとっていた、各公共施設を順次再開し、さらには市立小中学校も部分登校をはじめており、新たなステージに進んでいるところです。

さらに、特別定額給付金の郵送受付も5月25日から開始いたしました。本市では、土曜日・日曜日・夜間も含め、毎日各部署から約30名の職員を動員し、申請いただいたそれぞれの世帯へ、スムーズに給付金が届けられるよう体制を整えております。

なお、特別定額給付金については、私自身も申請し、全額を龍ヶ崎市内で消費することで、少しでも龍ヶ崎の経済活動に貢献できればと考えております。

今後、この感染症の収束の日に向け、そして、新たな日常へ歩みを進めていくため、市民生活や社会経済が停滞しないよう、スピード感をもった対策を講じてまいります。

市民の皆さまも、マスクの着用や、人と人との距離の確保など、「新たな生活様式」をもとに、引き続き、感染拡大防止に向けた取り組みに、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、季節は二十四節気の「小満」となり、最近では若葉雨が続き、梅雨の足音が

近づいてきているように、感じられる時期となりました。

稲作が盛んな本市の田園地帯には、田んぼに浮かぶ苗が風に揺られ、緑のじゅうたんが広がり、実りの時期に向け、一步一步、季節が歩みを進めています。

例年であれば、本市が誇る夏の風物詩、国選択・県指定無形民俗文化財の「撞舞」の練習スタートをお知らせする時期ですが、感染拡大防止のため、本年は残念ながら、八坂祭礼の規模縮小、「撞舞」の中止を先日ご案内させていただきました。

当日の観覧を楽しみにしていた皆さまには、誠に残念なお知らせとなってしまいますが、ご理解のほどよろしく願いいたします。

なお、「撞舞」の舞男を育成する練習は、感染防止策を講じたうえで、実施する方向で検討しているとのことですので、来年の「撞舞」に向け、準備を進める方々への温かいご声援をお願い申し上げます。

それでは、本日の情報提供をはじめます。

まず、はじめに、先日、市 PR サイト「子育てたつのごアクション」に公開いたしました、小学生向けの龍ヶ崎クイズ「隊長からの挑戦状」についての情報提供です。

令和 2 年 5 月 1 日の公開以降、クイズの挑戦者は、令和2年5月25日現在で延べ 1,127 人となっており、大変多くの方々に、挑戦いただいています。

このクイズコーナーは、若手職員が中心となり施策提案をする定住促進プロジェクトが、過去に提案した施策のひとつである「たつのご検定～龍ヶ崎を学ぶ～」をヒントに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出を控えている小学生などが、クイズ形式で龍ヶ崎を楽しく学べるようにとの思いを込め、公開したものです。

問題は、市職員有志が休日にインターネットを活用し、オンラインで打合せして考案しているほか、関鉄レールファンCLUBから原案を提供いただくなどして、作成しています。

本日現在、全 10 種類が公開され、市の概要や地名、マスコットキャラクターまいりゅう、竜ヶ崎線など、多岐にわたる龍ヶ崎に関する問題に挑戦が可能です。

各問題は難易度をAからCに分けており、もっとも難しい難易度Aの正答率は約54%となっており、正答率から見るに、これまで知らなかった龍ヶ崎のことを新たに発見するきっかけになる内容となっているのではと、感じているところです。

引き続き、多くの方々に挑戦していただき、クイズを通し、龍ヶ崎の魅力を知ってもらうことで、「自慢したくなる ふるさと」と感じてもらえる、きっかけになればと考えております。

次に、市マスコットキャラクター「まいりゅう」になりきり、楽しく感染症予防ができる「まいりゅうマスク」の型紙の無料配布に関する情報提供です。

この型紙は、子どもたちに人気の「まいりゅう」の鼻をデザインしており、龍ヶ崎市役所手芸クラブの有志が、親子で楽しくマスクを作り、マスクの着用が苦手なお子さまでも、楽しく着用できるようにと、考案したものです。

なお、マスクの作り方や型紙は、市 PR サイト「子育てたつこのアクション」に掲載しており、無料でダウンロードすることができます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用が呼びかけられていることから、オリジナリティあふれる、手作りのマスクを制作されている方も多いかと思います。

ます。

政府が示した「新たな生活様式」にもあるように、症状がなくてもマスクを着用するという、これまでとは違う生活様式が求められる中、多くの市民の皆さまに愛される「まいりゅう」をモチーフにしたマスクを着用することで、少しでも日常生活が明るくなればと考えているところです。

最後に、再度のお願いとなりますが、公共施設の利用制限や利用方法の変更などで、市民の皆さまには、ご不便をおかけすることもあるかと思えます。これまでの生活様式とは異なる「新たな日常」へ、前向きな一步を踏み出す準備を進めるために、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。そして、新型コロナウイルス感染症の収束に向け、一丸となって歩みを進めてまいりましょう。

以上が、私からの提供情報となります。

詳細は、担当からご説明いたします。